

# 「未来さわか..」

# 自然と共生するあぶくま拠点都市の実現に向けて

## 小野町の現状と課題

## 止まらない人口減少

まちづくりの指針となる「第三次小野町振興計画」の後期基本計画がスタートしました。21世紀初頭の町の理想像実現のため、「定住と交流と快適環境のまちづくり」を推進しているところです。

地域を取り巻く諸情勢は、定住人口の減少、少子高齢化、地場産業の低迷、地方分権などが進行しており、まちづくりの課題が山積しています。

昨今において「まちづくり」は、行政ばかりでなく、住民の参画が重要となっており、そのためには、現在小野町が抱えている様々な課題・危機感を地域全体で共有する必要があります。

このことから、今月の広報から全9回にわたり、小野町の現状と課題についてお知らせし、今後の対応について検討していきます。第1回となる今月号では、「定住人口の減少」について取りあげます。

小野町の総人口は、昭和30年の国勢調査時の17,620人をピークに減少を続けており、平成12年の国勢調査では、12,555人とピーク時より約5,000人も減少しています。本年4月1日現在（福島県現住人口調）では、12,123人と依然として減少傾向に歯止めがかかっていません。

## 10年後には9千人台？

このまま人口減少が続くと、10年後の小野町は何人の町になってしまおうのでしょうか？平成7年と平成12年に実施した国勢調査の結果比較と、出生率から2015年（平成27年）の人口を推計してみました。その結果は、何と、9,922人。1万人を割ってしまうのです。

推計にあたっては、国立社会保障・人口問題研究所の小地域簡易将来人口推計システムにより算出。

